



公益信託「軽井沢グアム学生交流基金」

第 4 6 期事業概要報告書他

第 4 7 期事業概要計画書他

委託者 軽井沢ロータリークラブ

受託者 袖山卓也

第46期事業報告書

期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
「公益信託軽井沢グアム学生交流基金」受託者 袖山卓也

- 令和 4年 4月20日 信託管理人佐藤一郎氏による第45期 監査終了
- 4月21日 45期事業概要報告書 外務大臣（外務省北米局第一課）宛提出
- 5月 新型コロナウイルス感染症防止のため、グアムロータリークラブより
第46期米国グアム交換学生、グアムロータリークラブ会員家族の来
軽中止の報告を受け受入事業中止決定
- 9月12日 軽井沢ロータリークラブ理事役員会で新型コロナウイルス感染状況
下での派遣事業の検討（オンライン交流を含めて）
- 10月3日 軽井沢ロータリークラブ理事役員会で2023年3月派遣中止を
決定（オンライン交流は引き続き検討）
軽井沢ロータリークラブ理事役員会の2023年3月の派遣中止
決定を受け、派遣学生選考の段階より派遣事業は中止。
軽井沢高校へその旨、報告する。
- 令和 5年 4月 米国グアムロータリークラブ会員4名来軽
コロナ感染症予防対策のため中断していた派遣交換事業について意
見交換をする。3月派遣、6月グアム学生受け入れも中止となった
ため、ライブビデオでお互いの高校生交流を計画実施する。
(令和5年6月中に実施予定)

以上

第47期事業計画書

期間 令和5年4月1日より令和6年3月31日

公益信託「軽井沢グアム学生交流基金」

受託者 袖山卓也

2023年4月現在、世界的なコロナウイルス感染症の日本及び米国グアム島の感染が落ち着きを見せている状況で、世界的にも国際交流が再開されつつあります。今期もその状況を見極めながら、公益信託の目的である日米学生交流支援、補助事業を継続、実施する計画であります。

記

令和5年4月20日 公益信託管理人 佐藤一郎氏による第46期決算監査。

4月 外務大臣宛第44期事業概要報告書提出。

提出先 〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関2丁目2番2号

外務省北米局北米第一課

軽井沢ロータリークラブホームページ報告掲載

ホームページアドレス <http://www.karuizawa-rc.jp>

外務大臣宛 公益信託基金一部取崩し承認願ひ提出。

5月 第47期 交換学生受け入れ事業中止

(コロナ感染症の状況等により中止決定)

6月 軽井沢高校生とグアム島の高校生徒のオンライン交流の実施(予定)

7月 米国グアム島、日本のコロナ感染症の感染状況を見極め、実施可能と判断した場合は軽井沢高校へ第47期派遣学生の募集をする。

10月下旬 応募学生面接会実施

11月中旬 公益信託選考委員会開催、派遣学生5名の決定、補助金の内定。

12月中旬 第47期グアム派遣学生保護者軽井沢ロータリークラブ例会に招待し、派遣学生挨拶。渡航説明会(国際奉仕委員会、旅行社)
(コロナ感染症の状況等により派遣事業実施判断)

令和6年1月初旬 第47期グアム派遣学生渡航手続申請(佐久地方事務所)

1月下旬 軽井沢町にグアム派遣学生の補助金申請。

3月中旬 第47期グアム派遣5名、派遣、10泊11日間

グアムロータリークラブ会員宅にホームステイ、高校体験入学(4日)

グアム・軽井沢両ロータリークラブ合同例会に招待。

3月下旬 第47期グアム派遣学生、軽井沢ロータリークラブの例会に招待し、帰国報告会。(学生がそれぞれスピーチ報告)

3月末日 軽井沢町へ派遣報告書提出

令和6年3月末日に「公益信託軽井沢グアム学生交流基金」は残高0円となり、第47期をもって公益信託「軽井沢グアム学生交流基金」は終了をいたします。

今後はクラブよりの補助金をもってこの事業の継続を図り、軽井沢と米国グアム島のロータリアンが協力して軽井沢高校生とグアム島の高校生の交流事業を末永く継続させていく所存でございます。第47期事業報告書は当クラブホームページにて掲載させていただきます。長い間のご理解ご支援に感謝申し上げます。